絆

赤井むつみ後援会便り第55号

笑顔あふれる温かい町に！

2022年3月　発行

今回の一般質問

子どもに優しいまちづくりを！

ユニセフが提唱する「子どもに優しいまちづくり事業（CFCI）」が開始され、ニセコ町、安平町、宮城県富谷市、東京都町田市、奈良県奈良市の５市町が実践自治体として承認されました。子どもに優しいまちは、結果的にみんなが幸せになれるまちづくりを目指すことです。八雲町も子ども達の意見にしっかりと耳を傾けて、町民誰もが幸せを実感できるまちを目指しませんか？

答　弁

八雲町は医療費や給食費、保育料の軽減・無償化など、他の町に遜色がない子育て支援対策を行っている。子ども達がまちづくりに主体的に関わっていると実感することも重要だと認識しているので、ニセコ町や安平町の事例を参考に研究していく。

再質問

８年前に、住民自治意識を高めるためにも中高生の意見をまちづくりに生かす仕組みを作ってほしいと一般質問で提言した時、２７年度中に町長と話し合うための仕組みを作ると答弁があり期待していたが、その後どうなっているのでしょうか？

答　弁

あの時はやる気だったが、なかなか進まず実行できなかったことを反省し、今後真剣に取り組んでいく。

丁寧な進め方と説明が大事！

年々漁獲量が減ることによる水産業の衰退を、何とか食い止めようとサーモン養殖事業が提案され、新年度予算に上八雲施設の取得の予算も計上されていますが、総事業費の予算、事業の目標や目的に至るまでのスケジュールも明確にされていません。自治基本条例第４０条に『行政は総合計画に基づいて予算を編成し、中長期的な財政見通しに留意しながら計画的かつ健全な財政運営を図ることとします。』とありますが、サーモン事業は総合計画にも載っていないため、中長期的な財政見通しも示されていません。総合計画に載せずに進めるのは乱暴であり、みんなで作った条例はしっかり守るべきだと思いますが、町長はどのようにお考えでしょうか。

答　弁

確かにその通りだと思うが、私はこの８年間産業の活性化のため担当課と協議しながら、ふるさと納税・企業版ふるさと納税に力を入れて取り組んできた。３期目は町のためになるということは、乱暴でも型破りでも信念を持って進めていく。サーモン養殖事業とフェリーは、必ずやり遂げるという思いでいるが、赤字になるものはやらない。いつでも軌道修正をする。

再質問

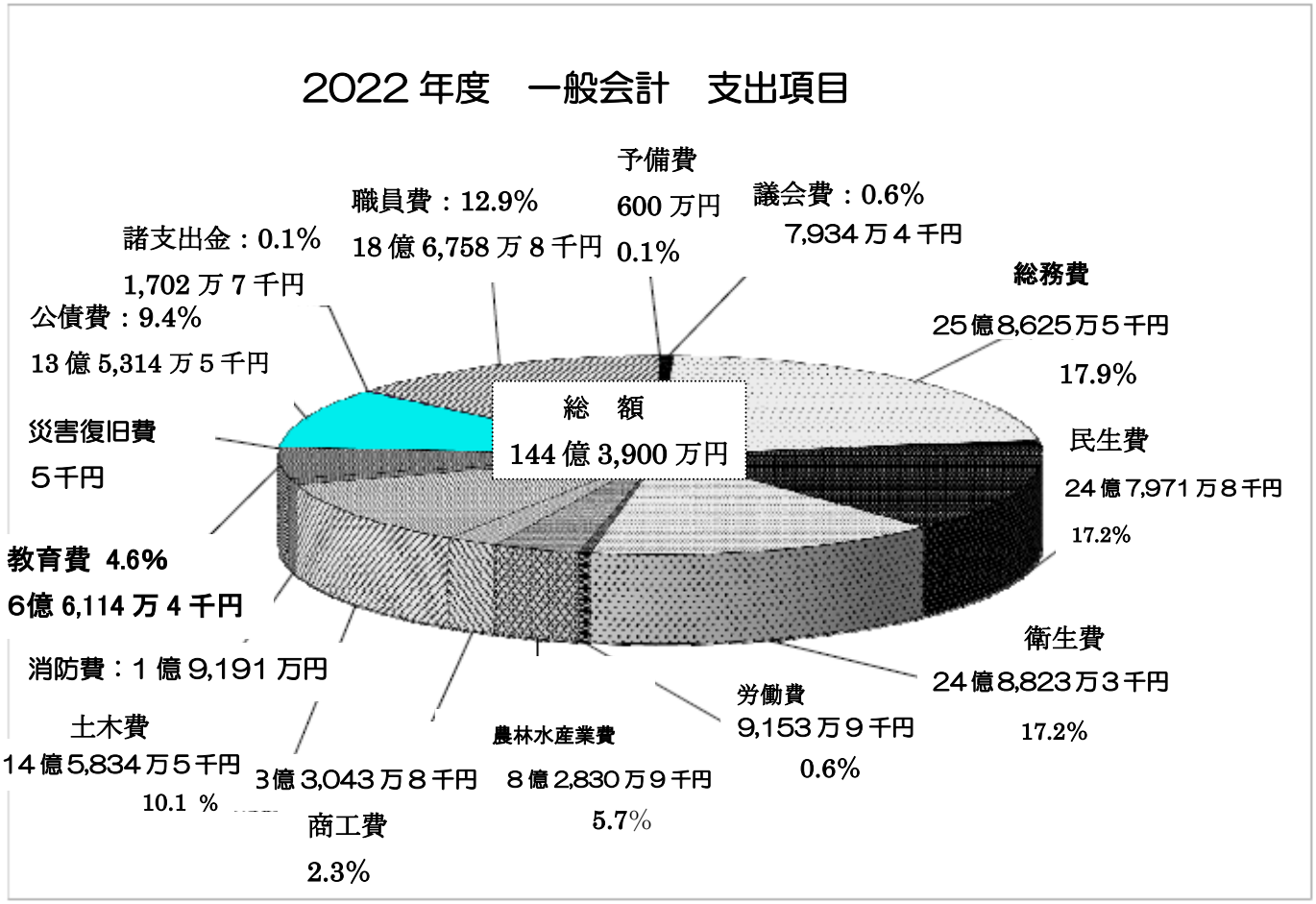
議会には止める力があるので、何のためにやっているのかが見えない時はしっかり止めます。

2022年度の予算決定！

３月の八雲町議会定例会では、予算特別委員会が設置され、2022 年度予算について審議し、本会議で下記の通り決定（可決）いたしました。

項　　目	２０２２年度予算額	2021 年度予算額
一　般　会　計	144 億 3,900 万円	141 億 3,200 万円
国民健康保険事業特別会計	27 億 137 万２千円	27 億 4,489 万３千円
後期高齢者医療特別会計	２億 4,536 万３千円	２億 3,783 万９千円
介護保険事業特別会計	20 億 6,888 万４千円	19 億 9,922 万８千円
熊石地域簡易水道事業特別会計	8,403 万５千円	8,381 万３千円
下水道事業特別会計	７億 7,404 万７千円	６億 8,943 万７千円
農業集落排水事業特別会計	１億 6,027 万９千円	7,195 万２千円
病 院 事 業 会 計	76 億 8,725 万２千円	76 億 7,834 万１千円
水 道 事 業 会 計	５億 9,486 万２千円	６億 2,868 万円
合　　計	287 億 5,509 万４千円	282 億 6,618 万３千円

○　前年度比　４億 8,891 万１千円　1.7%の増額となりました。
○　貯金（基　金）　約　99 億 6,900 万円（2021 年度末見込み）約９億６千万円増↑
○　借金（地方債）　約１36 億 7,900 万円（2021 年度末見込み）約４億８千万円増↑



主な内容

町民の安心安全、活力ある町を目指しています。
町民みなさまが、幸せを実感出来ますように！

＜一般会計の事業の一部と経費＞

総務費：前年度より５５万９千円減りました

新役場庁舎整備事業：5,532 万８千円（基本設計及び執務環境プラン策定支援業務）

地域公共交通網形成事業：2,205 万９千円（桧山海岸線：太田～熊石及び熊石八雲間予約バスの運行、八雲地域の新たなバス路線の試験運行）

民生費：5,354 万１千円増えました（2.2%増）

児童手当給付事業：１億 7,846 万７千円（0～中学校終了前：延 16,092 人）

子ども医療費助成事業：5,632 万７千円（高校生以下の医療費無償）

衛生費：２億 6,736 万２千円増えました（12%増）

八雲地域ゴミ処理関連業務委託料：１億 8,406 万９千円（町内のゴミ処理に係る費用）

海岸漂着物処理事業：1,565 万３千円（黒岩大川地区～山崎川　約 2.3km）**新規事業**

労働費：3,631 万１千円増えました（65.7%増）

U・I ターン就職奨励金事業：3,000 万円（U・I ターンで雇用された者に奨励金初年度 30 万円）

農林水産業費：7,606 万３千円増えました（10.1%増）

活性化施設機械設備等改修事業：８７９万１千円（真空包装機、冷凍冷蔵庫、アイスクリーム製造機器購入）

サーモン種苗生産施設整備事業：１億 3,577 万１千円（サーモン種苗生産に対する経費）

商工費：1,837 万6千円減りました（5.3%減）

熊石観光協会観光振興事業補助金：１０９万８千円（HTB 番組による地場産品の PR の推進他）

鮎川公衆トイレ解体事業：２１１万2千円（トイレ解体工事）

土木費：１億 5,234 万１千円増えました（11.7%増）

除雪対策費：２億 3,0３４万円（*八雲町の除雪は好評ですね！*）

町営住宅建設事業：１億 8,701 万９千円（新規建設２棟６戸、解体設計９棟 48 戸、移転補償５戸、鮎川団地解体設計・解体工事１棟４戸）

消防費：6,795 万4千円減りました（26.1%減）

救急自動車整備事業：3,118 万２千円（落部救急車１台更新）

救急・救助資機材整備事業：1,629 万５千円（空気ボンベ５本、半自動除細動器４台）

教育費：2,902 万４千円減りました（4.2%減）

特別支援教育支援員配置事業：2,350 万円（支援員を小学校に 12 人、中学校に６人配置）

総合体育館トレーニング機器整備事業:768 万７千円(サーキットステーションフルセット、フリーウエイト機器一式)

公債費：13 億 5,314 万5千円（9.3%減）（*これは、借金の返済にかかるお金です*）

職員費：１８億 6,758 万８千円（1.5%減）

2022 年度は一般会計と特別会計、企業会計を合わせて総額 287 億 5,509 万４千円の予算となり、昨年より４億 8,891 万１千円（1.7%）増となりました。心配していた地方交付税は 7.3%増の 52 億 706 万円でしたが、町税は 1.4%減の 19 億 8,116 万2千円でした。

いよいよ役場庁舎の基本設計に取り組むことになり、実施設計、建設と形が見えてくることになります。場所が移動するので、遠く感じられる方も多いと思いますが、地域公共交通網形成事業で、新たなバス路線の試験運行も行われるので、期待しながら見守っていきたいですね！

初めて予算案に反対しました！

一般会計予算は総務費、農林水産業費など、科目毎に採決をするのではなく、全ての項目を一括して賛成反対の決を採ります。私は、他の予算案には全く反対ではないのですが、サーモン養殖に関して反対だったため、結果的に一般会計予算全てに反対することになってしまいました。反対するときは、反対討論という反対理由を説明し、皆さんに少しでも理解してもらうよう努めます。

≪反対する理由（反対討論）≫

議案第１号、一般会計予算案に反対の立場から討論したいと思います。

自治基本条例の第４０条には、「行政は、総合計画に基づいて予算を編成し、中長期的な財政見通しに留意しながら計画的かつ健全な財政運営を図るものとします」とあり、第５０条第２項には、「町民、議会および行政は、まちづくりに関する全ての活動において、この条例を誠実の遵守しなければなりません」と明記してあります。しかし、今回のサーモン養殖事業については、中長期的な計画もそれに伴う財政計画も提示されないまま、ふ化事業に使用する施設の取得という部分的な事業についてのみの予算計上となっています。八雲町にとってはもちろん、北海道にとっても重要な事業であること、事業そのものは官民で取り組む予定であることなどは聞いておりますが、町はどのような形でかかわり、漁業者の方たちにとってどのような効果があるのかも明確にされていません。そのような乱暴な方法で、今後大きな金額を動かす事業が展開されようとしています。事業の目的は、近年の漁業不振への対策だということは十分わかりますが、最終的にどのような施設になるのか、事業の進め方はどのように行うのか、そのための今後の計画や総事業費の予算はどのようになるのかなど、丁寧な説明と進め方が必要だと思います。町は、みんなで決めた自治基本条例を守って事業を進めることを強く要望し、反対討論とさせていただきます。

≪落部漁協ウニ畜養実証試験報告会に参加しました！≫（その中から一部抜粋）

コンブが繁茂している藻場は、森林の約 2.5 倍の二酸化炭素を吸収し、食料となる**海のゆりかご**です。	しかし、この藻場が海水温の上昇や、ウニなどの食害により年々縮小し『**海の砂漠化**』が進み深刻な状況。	コンブの敵の低品質なウニを回収し、上質なえさを与えて実入りの良いウニの生産と藻場再生に挑戦！	痩せウニの育成と藻場の再生、ブルーカーボン、カーボンクレジットなど、良いことだらけの **はぐくむウニ**

※コンブは海にとっても大切な資源であると同時に、全ての漁家にとって収入となる貴重な海産物でもあります。落部漁協ではコンブを豊富に育てるために、試験的に天敵であるウニを回収し北大と研究した餌を与え、実入りの良いウニに育て『はぐくむウニ』として北三陸ファクトリーが販売しました。コンブは二酸化炭素の吸収率も高く、この取り組みは一石四鳥と大いに期待しています。

赤井むつみ後援会連絡先　八雲町住初町１２６
携帯電話＝０８０－５５８８-２０９０（赤井）
赤井自宅　栄町５６-１２（３区）　６３－２０９０　（FAX 兼）
メールアドレス　yuurappu@kta.biglobe.ne.jp　HP は『赤井むつみ』で検索を！